

「たからばこ」



～第2層生活支援コーディネーター向け第4号～

地域の支え合い情報紙「たからばこ」は、地域で頑張っている第2層生活支援コーディネーターの皆さんに向け、第1層協議体（関係者ネットワーク会議）の内容や各地区での活動の様子などを中心に紹介し、地域福祉活動の推進に役立てていただくために、年数回程度の発行を予定しております。

今回は、5月23日に開催された令和5年度第1回関係者ネットワーク会議の内容と参加者の発言からピックアップしたものをお伝えします。また、令和5年度長岡市生活支援体制整備事業 活動方針・計画も添付しましたので、ご覧ください。



グループワークの様子を紹介します



【第1回関係者ネットワーク会議のグループワーク】

長岡市生活支援体制整備事業では「地域福祉活動を取り巻く人口減少・担い手不足といった課題に対し、社会心理学的な視点から、人間の行動を考察し、現代社会に求められる地域づくりについての知見を得る」目的で**令和5年9月9日（土）に市民セミナーを計画しています。**仮テーマとして「**社会心理学から学ぶ、令和の地域づくり**」とし、対象は一般市民で主なターゲットはコミュニティ活動関係者・地域福祉活動関係者を考えています。セミナーでは、玉川大学脳科学研究所 高岸治人氏に基調講演を依頼しています。

◎グループワーク1 「9月に行われる市民セミナーのテーマや内容」

- ・土曜日開催のセミナーに参加する時点で、活動に関心がある人ではないか。こうした貴重な人材を無駄にしないようにしたい。来る人、やる人とそうでない人の心理の違いがどうしておこるのかなどを知りたい。
- ・「他人に迷惑をかけてはいけない」という日本の気質が助け合いの壁になっているのではないか。
- ・難しい用語や英語などではなく、学問的なものばかりではない内容でお願いしたい。
- ・講師の話の後に、事例提供がほしい。また、その提供に対する助言をもらえたり、活動者やこれからやってみようかなという方の背中をそっと押してくれるような内容で。
- ・地域の協力体制の機運が盛り上がるとよい。
- ・地域でおこなっている活動を撮影したものを放映してみるのもいいのではないか。
- ・ボランティアをして前向きに生活している方や多世代を取り込んだ活動（例：みんな食堂など）をしている方の活動報告を聞き、講師とディスカッションし、助言をもらう。
- ・昔は、お互い様ができていたし抵抗感もなかったのが、いつから考えが変わったのか。時代の流れと人の心理面の違いを聞きたい。また、そこから、「令和の地域づくり」のヒントを話してほしい。
- ・あまり、今の長岡市の状況とかけ離れるような専門的・学術的な話を中心にしないでほしい。



◎グループワーク2 「今後、関係者ネットワーク会議で検討した方がよいテーマ」

- ・この会議は、地域の特質の幅が広い長岡市全体のことを考える会でもあるため、共通課題として必ずあがる「移動支援」と「人材不足（町内も含めて）」をテーマに話し合いたい。
- ・専門職の介入がなくても、高齢者らが見てわかりやすい地域にある資源やサービス一覧などは必要だと思う。
- ・チームオレンジの取組とあわせて、人を取りこむことやマッチングすることなどについて話し合いたい。



今回の関係者ネットワーク会議でいただいた意見（学問的な文言が前面に出ない方がよい、日本人の今昔がわかるようなテーマがよい等）を踏まえ、講師の方と相談し、テーマを設定しました。

なぜ、日本人は**協力**しなくなったのか ～社会心理学から学ぶ、令和の地域づくり～

対象：一般市民（主なターゲットは、コミュニティ活動関係者・地域福祉活動関係者）

主催：長岡市・長岡市社会福祉協議会

日時：令和5年9月9日（土曜日）午後2時～4時（開場：午後1時30分）

会場：長岡リリックホール シアター

内容：・基調講演

玉川大学 脳科学研究所 教授 高岸 治人 様

・地域活動の事例発表（現在調整中）

・意見交換 等



また、関係者ネットワーク会議で、出た意見について、講師の方にお伝えしました。

- ・社会心理学と聞くと難しく感じる方々もいるかもしれないので、なるべく横文字や難しい言葉を使わないでいただけるとよい。
- ・地域福祉だけでなく、その他の福祉事業所等も担い手不足に悩んでいる。
なぜ、今の方々は、地域のボランティアに協力的でなくなってしまったのか聞いてみたい。
- ・協力的な人と、協力的でない人は何が違うのか。
- ・昔と今の、心・考え方の違いを比較してもらえるとわかりやすい。
- ・今後（令和の時代）は、どのような地域づくりが求められるのか。 等

二層コーディネーターの皆さんからいただいた意見「**担い手不足**」について、社会心理学的な観点から考えてみるセミナーです！ぜひ、ご参加ください！

チラシができ次第、各コミセン・支所社協にも送付いたします。

地区福祉会の皆様や、住民の方への周知に御協力ください。



令和5年度 第1回関係者ネットワーク会議の皆さんです！



長岡市コミュニティセンター運営研究会	
長岡市民生児童委員協議会	
長岡市深才コミュニティセンター	
長岡市上川西コミュニティセンター	
長岡市福戸コミュニティセンター	
長岡市社会福祉協議会三島支所	
長岡市シルバー人材センター	
長岡市地域包括支援センターなかじま・おもてまち	
長岡市長寿はつらつ課	
長岡市社会福祉協議会地域福祉課	

発行：長岡市 長寿はつらつ課 令和5年6月

制作：長岡市社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援コーディネーター 松浦

令和5年度 長岡市生活支援体制整備事業 活動方針&活動計画



<令和5年度 活動方針>

- (1) 住民普及啓発（支え合い・地域づくり）
- (2) 地域資源の見える化
- (3) 地域課題の把握及び検討（支援を受ける側・する側のニーズや思い）
- (4) 連携・情報共有・意見交換
- (5) その他

<令和5年度 活動計画> ★…重点項目

項目	実施内容
(1)住民普及啓発 ★	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報を利用した啓発 （市政だより、社協だより、HP、シルバーささえ隊通信、たからばこ 等） ・ 会議の実施、支援（地域福祉懇談会・コミセン主事連絡会） ・ 講演会（市民セミナー）※、地域コミュニティ推進のつどい ・ 既存の講座等との連携
(2)地域資源の見える化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源マップの既実施地域の内容確認、横展開の方法検討
(3)地域課題の把握及び検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉懇談会、コミセン主事連絡会、ケア会議、地域包括支援センター、その他地域福祉関係等から情報を収集・分析
(4)連携・情報共有・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者ネットワーク会議（第1層）の開催。年3回程度を想定。
(5)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動支援、除雪支援、防災に関するニーズ対応 等

※ 令和5年9月9日（土）リリックホール シアターで開催します。

- ① 市民に、「地域での支え合いや、地域づくりに関する必要性を感じてもらい、また理解を深めてもらう」ための企画。
- ② 本会議（関係者ネットワーク会議）の協力の元、開催する予定。